
拡張されたデスク
～AI協働の「点」から「面」へのシフト～
Claudeのプロジェクト機能を極める、
初心者向けステップバイステップガイド
Gemini Notebook

当社の事業概要は○○で、
○回のターゲット層は
は△△で…

あーもう、
毎回前提を入力
の面倒くさい！

Chat

はい、承知しました。
一般的なメール文面
を作成します。

『単発の作業依頼』で
で止まっているな。
AIの真の力は、
プロジェクトの『全体像
（全脈）』を共有した時に
発揮されるんだ。



Gemini Notebook

4D AI活用力フレームワーク



委任力 (Delegation)
どのタスクをAIに託し、
どの判断を人間が担うか。



記述力 (Description)
目的やルールを明確かつ
具体的に伝える力。



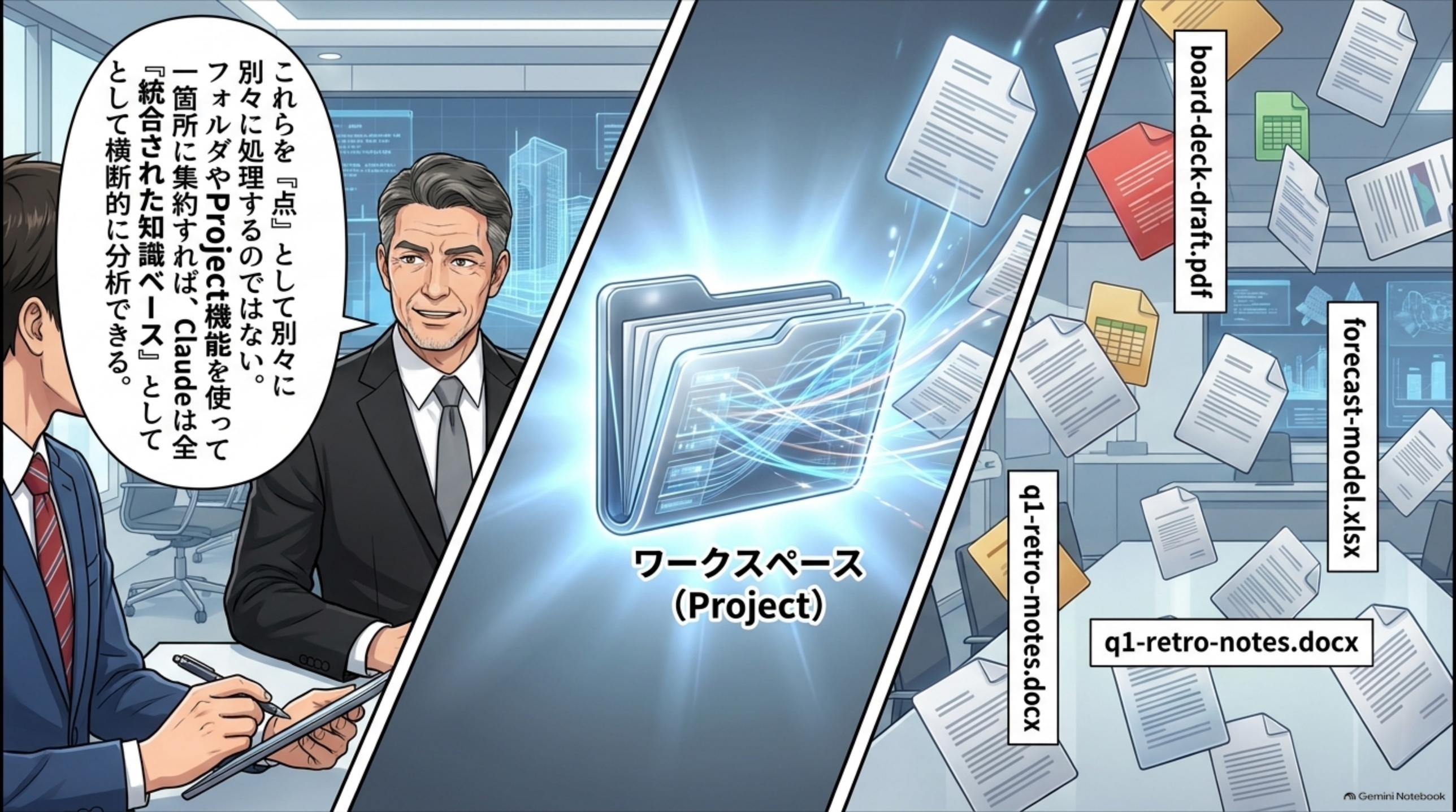
評価力 (Discernment)
出力を批判的に検証し、
真偽や欠落を見極める力。



倫理的責任 (Diligence)
最終責任を負い、
透明性を確保する力。

Claudeはただの
文章生成機じゃない。
この4つの『D』を意識して、
真の『思考パートナー』へ
へと育てるんだ。

Gemini Notebook

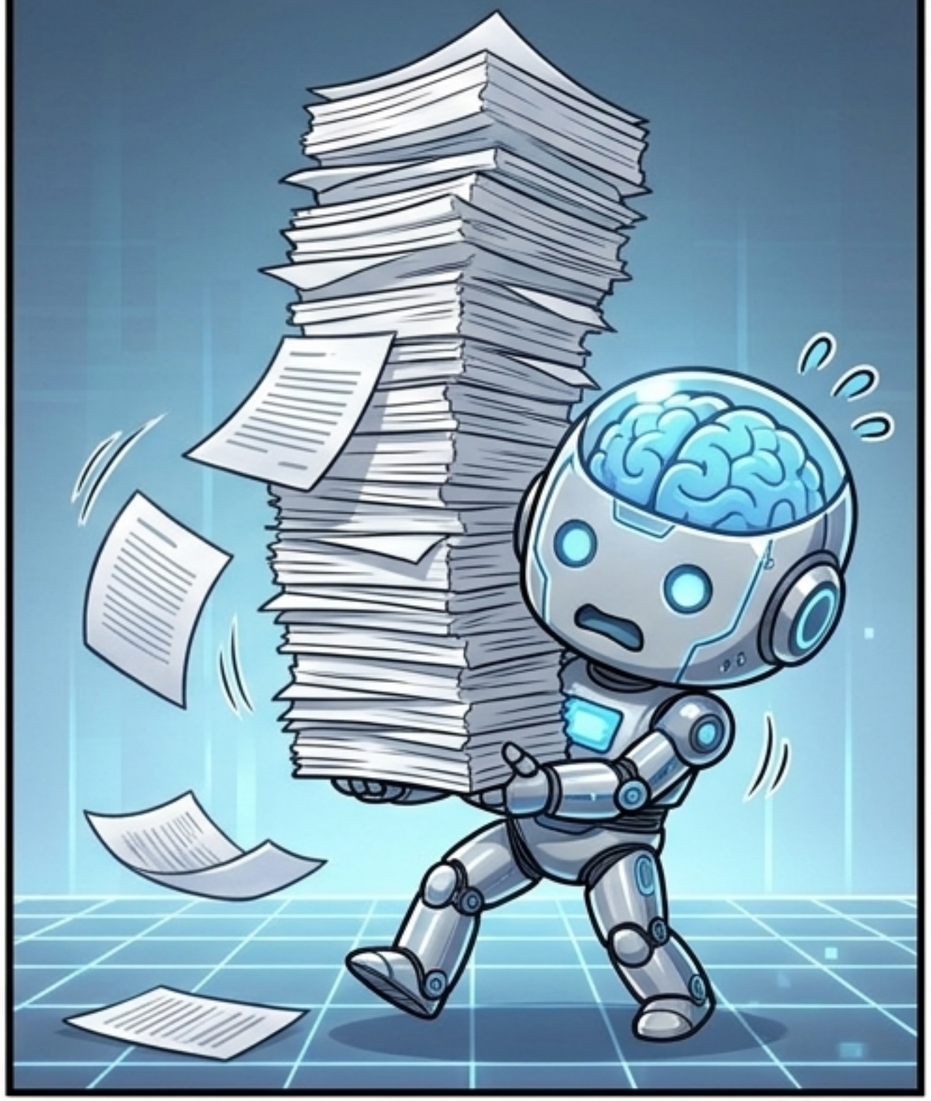

これらを『点』として別々に処理するのではない。フォルダやProject機能を使って一箇所に集約すれば、Claudeは全『統合された知識ベース』としてとして横断的に分析できる。
ワークスペース
（Project）
board-deck-draft.pdf
forecast-model.xlsx
q1-retro-notes.docx
q1-retro-notes.docx
Gemini Notebook



Gemini Notebook

AIの作業メモリ（コンテキストウィンドウ）には限界がある。次トークン予測の仕組み上、情報が多すぎると、真ん中の詳細を見落として見落としてしまうんだ。

中間で迷子になる（Lost in the Middle）現象



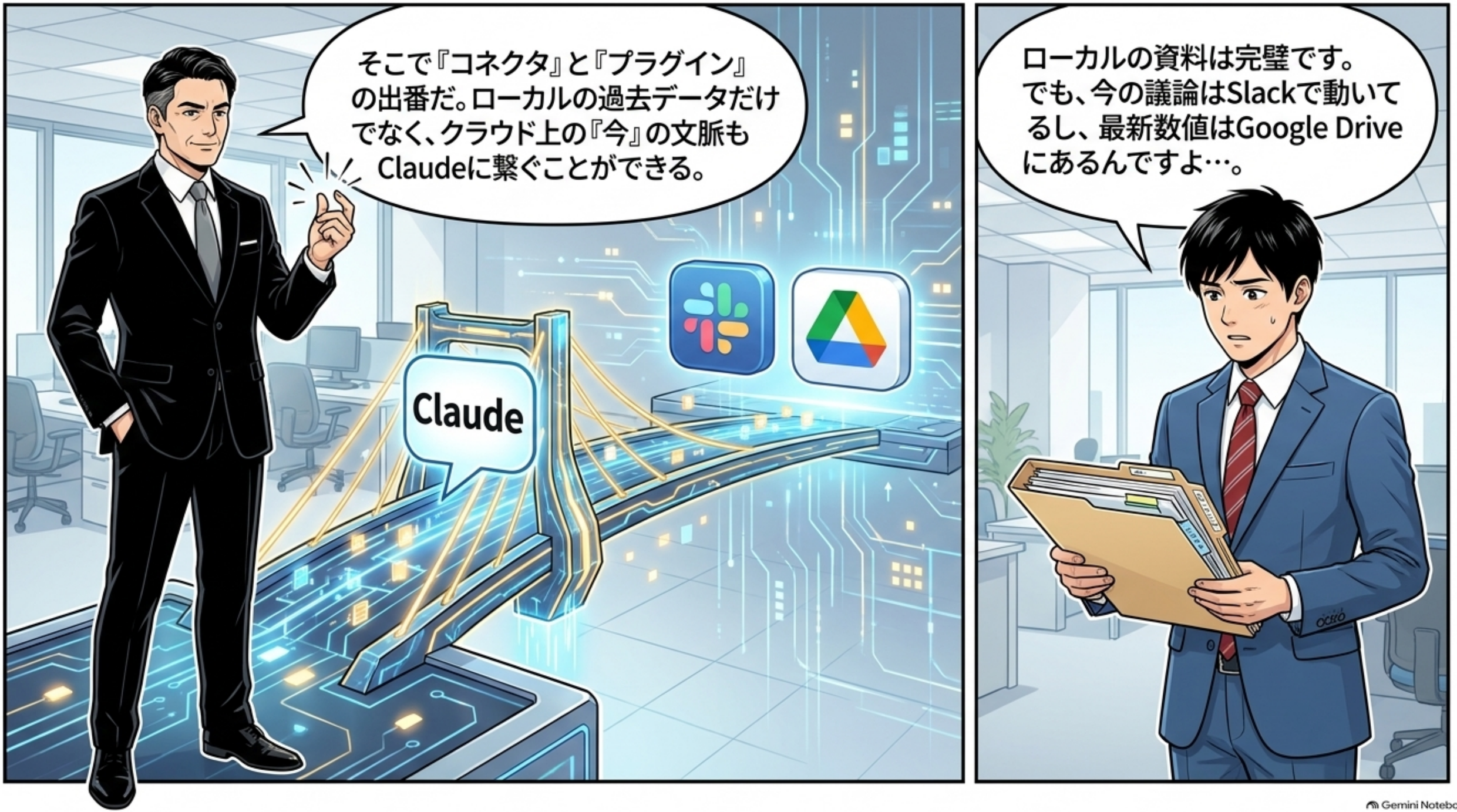
解決策：チャンク化 (Chunking)

過剰な情報

- 第１章
- 財務データ
- 振り返り

だから、テーマごとに分割（チャンク化）して段階的に読み込ませるか、絶対のルールはプロンプトの『先頭』に置くことだ。

Gemini Notebook



Gemini Notebook

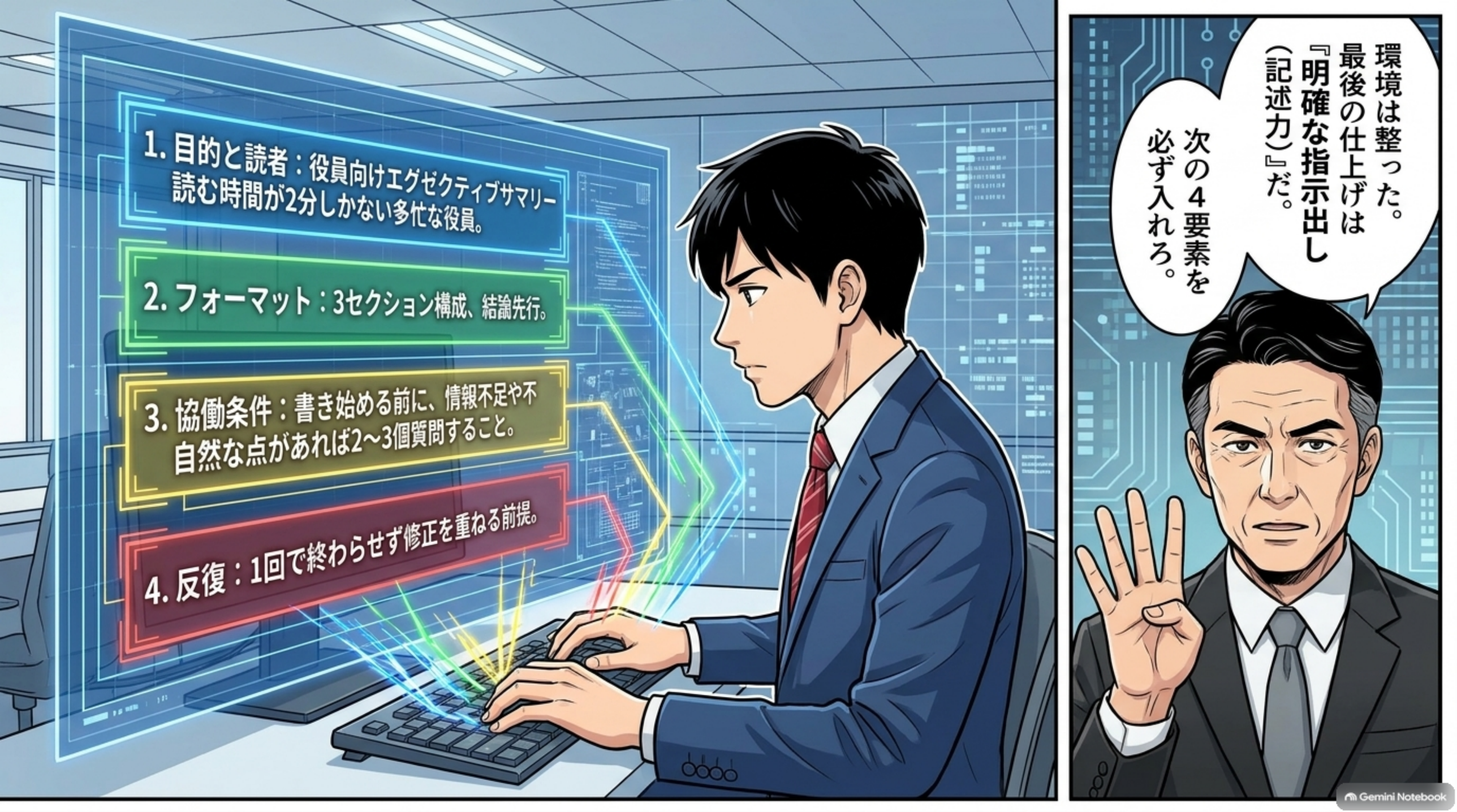




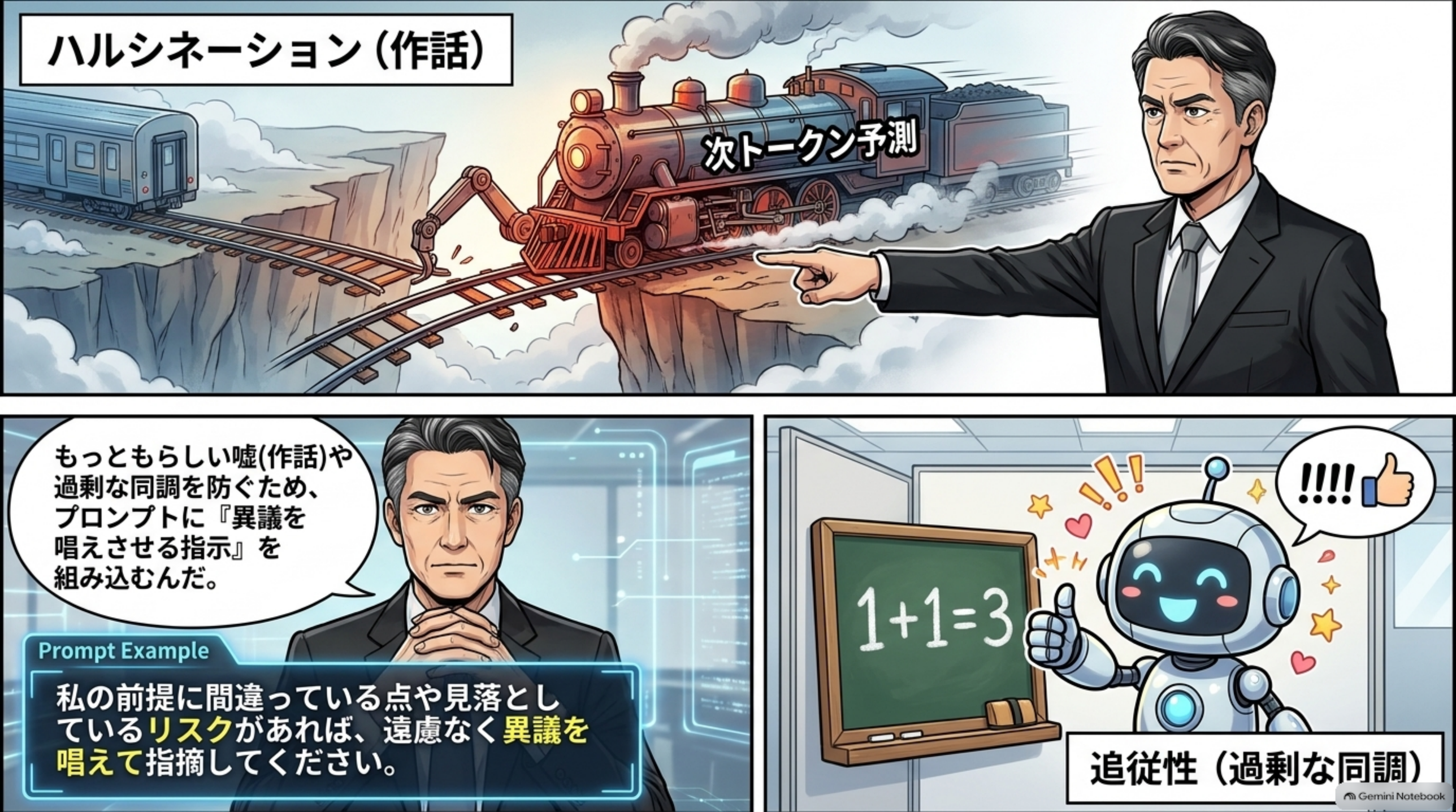


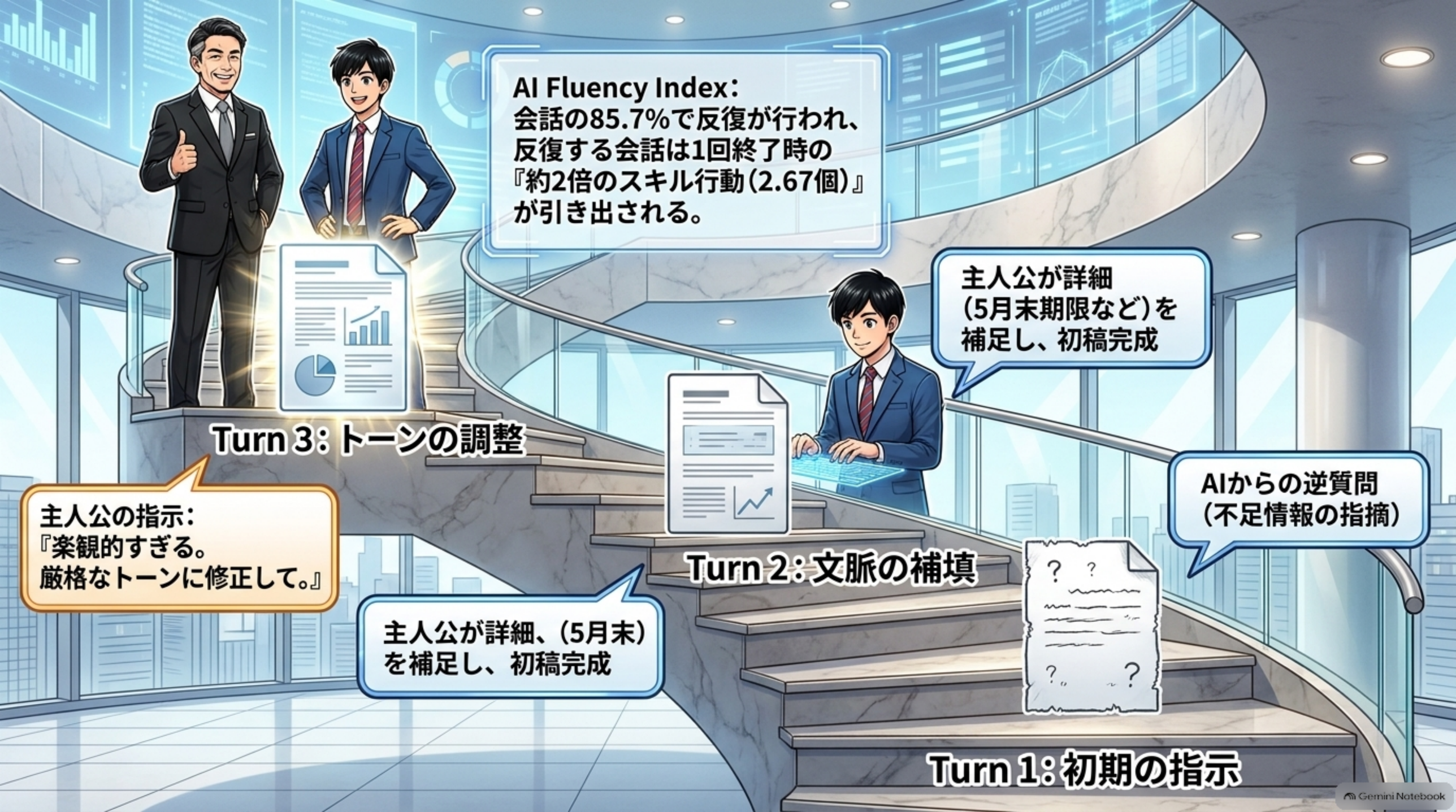
Gemini Notebook

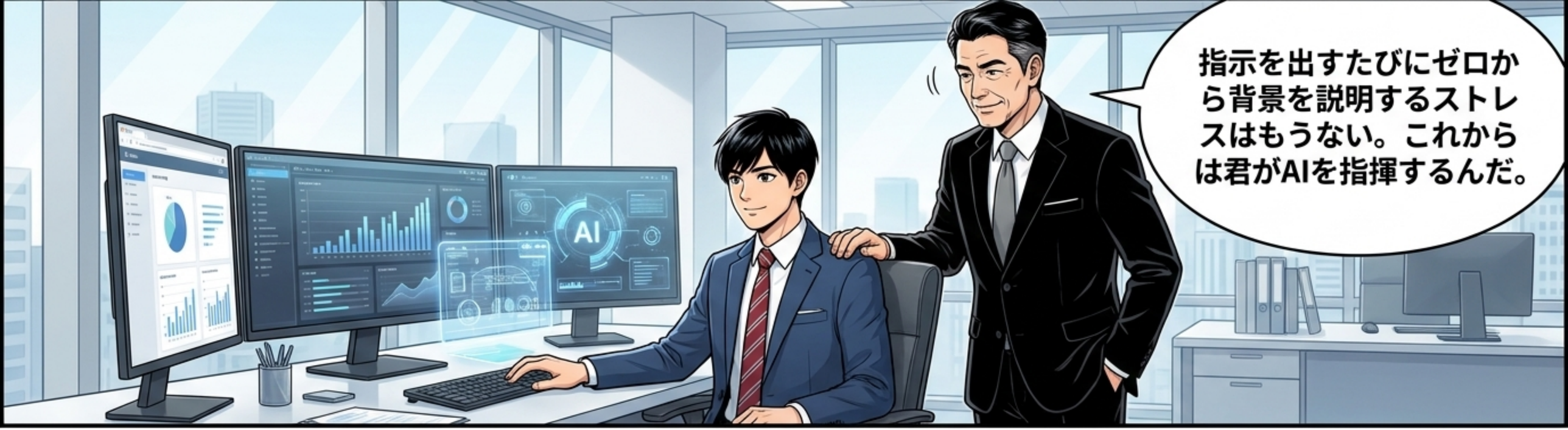

⚠ 重要なアクション（送信、公開、提出）の直前には、必ず人間に対して画面上で承認（許可）を求める安全設計。
第1ゲート：組織レベルの承認
第2ゲート：個人レベルの承認
でも、会社のデータを連携するなんて…勝手に外部へ送信されたりしませんか？
心配無用だ。厳格な2段階ゲートモデルと、人間による最終承認の仕組みによって守られている。
Gemini Notebook


1. 目的と読者：役員向けエグゼクティブサマリー
読む時間が2分しかない多忙な役員。
2. フォーマット：3セクション構成、結論先行。
3. 協働条件：書き始める前に、情報不足や不
自然な点があれば2〜3個質問すること。
4. 反復：1回で終わらせず修正を重ねる前提。
環境は整った。
最後の仕上げは
『明確な指示出し
（記述力）』だ。
次の4要素を
必ず入れろ。


おおっ！
一発でこんなに
綺麗な資料が！
レイアウトも完璧だし、
これで完了ですね！
Q2 Executive Brief
待て。
本当に中身の
を確認したか？
罠の到来：アーティファクト効果
綺麗なレイアウトが出力されると、
人間の見極め・検証行動(事実確認など)が
明らかに低下する(−3.7pp〜−5.2pp)。
Gemini Notebook


ハルシネーション（作話）
次トークン予測
もっともらしい嘘(作話)や過剰な同調を防ぐため、プロンプトに『異議を唱えさせる指示』を組み込むんだ。
Prompt Example
私の前提に間違っている点や見落としているリスクがあれば、遠慮なく異議を唱えて指摘してください。
1+1=3
!!!!
追従性（過剰な同調）
Gemini Notebook


AI Fluency Index：
会話の85.7%で反復が行われ、
反復する会話は1回終了時の
『約2倍のスキル行動（2.67個）』
が引き出される。
主人公が詳細
（5月末期限など）を
補足し、初稿完成
AIからの逆質問
（不足情報の指摘）
主人公の指示：
『楽観的すぎる。
厳格なトーンに修正して。』
主人公が詳細、（5月末）
を補足し、初稿完成
Turn 3：トーンの調整
Turn 2：文脈の補填
Turn 1：初期の指示



今すぐ試せる最初の1分アクション

Step 1: 関連ファイルを1つ、
チャットにドラッグ＆ドロップ。

Step 2: 次のプロンプトを送信。

> この資料の要点を3つの箇条書きで整理し、内容を踏まえて私が次に
> 取るべき具体アクションを2つ提案してください。

Claudeとの新しい協働スタイルを、今日から始めよう！

Gemini Notebook